

クライメート  
ポジティブを  
目指して



## はじめに

私たちのビジネスは、持続可能な成長を常に考え、長期的な視点を特徴としています。100%社員持株制度採用企業として、グリップルは常に社員とコミュニティの掌中であり続けます。ビジョンの根底である、環境への負担を低減し、ビジネスを長期的に確立させる責任が私たちにはあるのです。

弊社製品は、世界中の建設環境においてエンボディド・カーボンを大幅に削減します。垂直統合型サプライチェーンによって原材料の調達から生産までを国内で実現しており、シェフィールドにある最新の製造所は、ネットゼロ建築物の認定を取得しています。私たちには、ビジネスのあらゆる分野で継続的に改善を維持する義務があります。

2022年には、現在最大規模の製造拠点である英国での事業全体において、カーボンニュートラルの達成を目標としています。

2023年には、グローバル事業全体でのカーボンニュートラルの達成を目指しています。そして2030年までにネットゼロを達成することを、最終目標として掲げています。

ネットゼロは必要な目標であり重要な責任でもあります。私たちの取り組みはそれだけにとどまりません。グリップルは、クライメートポジティブ企業でありたいと考えています。それは単に二酸化炭素排出量の削減に注目するだけでなく、コミュニティに対して社会的・環境的にポジティブな影響を与えることを意味します。

以下の文書では、ネットゼロに向けた弊社の計画について詳しく説明します。グリップルスピリットにもあるように、理想の未来に向けて全力で取り組む社員全員の努力が、掲げた目標を現実のものとするのです。

**100%社員持株制度採用企業であり、売却されることはありません。**

**次世代の社員オーナーへと引き継いでいくために、ビジネスを築いています。**

**クライメートポジティブへの取り組みは私たちに必要なことであり、社員全員で挑戦すべき課題です。**

エド・スタブズ (最高経営責任者)

# 私たちの約束

## 2022

英国事業のカーボンニュートラル化

## 2023

グローバル事業のカーボンニュートラル化

## 2030

### ネットゼロ

カーボンニュートラルとは

「二酸化炭素などの温室効果ガスの総排出量を、他の取り組みでの総吸収量(排出量削減)\*でオフセットすること。」

\*排出量削減 = スコープ1および2。

ネットゼロ

温室効果ガスの排出をあらゆる角度から抑え、オンサイト発電を最大限に利用し、温暖化を1.5℃以内に抑える取り組みをすること。

# グリップルの現況

2021年にはネットゼロのロードマップを作成し、年内に主要なステークホルダーに発表するという社内計画を立てました。

この目標を達成するために、直面する課題について時間をかけて学び、把握してきました。現在では、サステナビリティのあらゆる側面に特化した専任要員を配置し、事業内の全部門のメンバーで構成されるネットゼロ・ワーキンググループを設置しています。さらに専門性を高めるため、第三者の協力を得て、ネットゼロ達成計画の基礎となるデータと計算方法を検証しました。

ロードマップは、気候変動対策に継続的に取り組むための重要な指標となります。収集したデータを検証することで、目標達成の為に改善すべき点が明らかになりました。

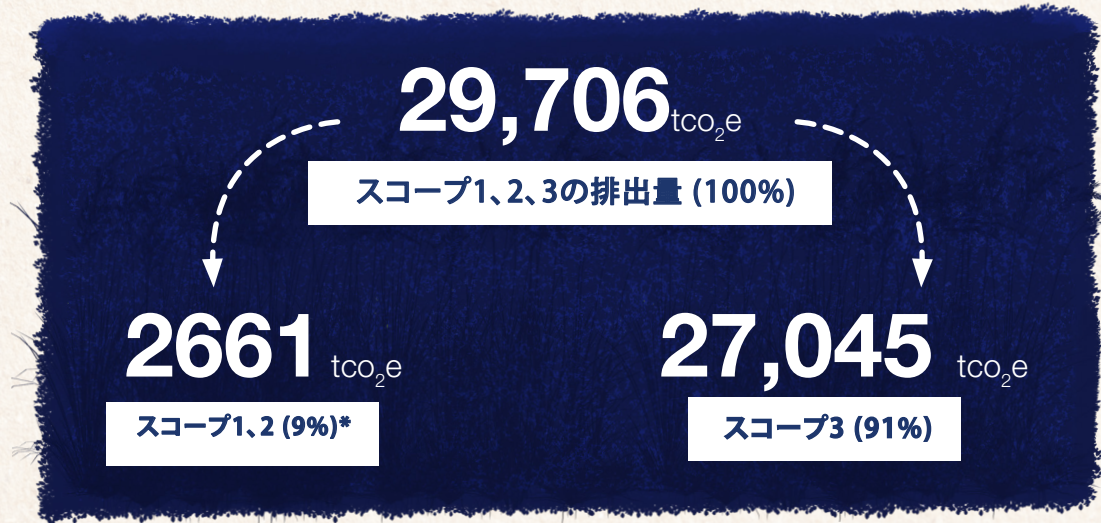
2020年のベースラインは、GHG報告書の作成規則に準拠し決定しました。今後、社内外に発信する情報は常に適切かつ完全で、一貫性や透明性があり、正確なデータに基づいて作成する様、改善すべき点を明確にしました。

## スコープ1

会社が所有・管理する資源からの温室効果ガスの直接排出量

## スコープ2

他社からの購入エネルギー使用に伴う間接排出量



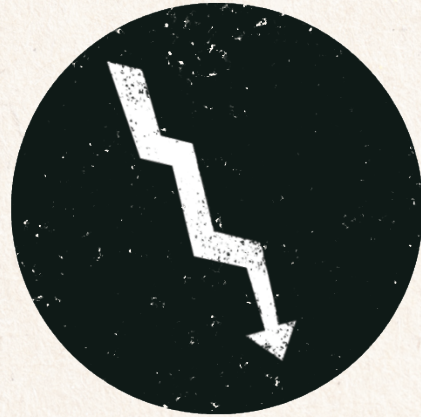
\*英国のみ

## スコープ3

弊社事業に関連するスコープ1、スコープ2以外の間接排出量

本データは、シェフィールドの弊社製造施設における英国事業に関するものです。

# 約束をどのように実現するのか？



削減



オフセット



貢献

## 削減

私たちが最初に目指す目標は、二酸化炭素排出量削減に向けて必要とされる75%を達成することです。私たちは、地球環境を守る活動に積極的に取り組みたいと考えています。私たちの行動や継続的な改善、グローバルな削減プロジェクトへの取り組みは、これを確実に実行するものです。

垂直統合型サプライチェーンは、ネットゼロへのロードマップの基本となる部分です。金型の作成、ダイカスト、製造、機械組み立ての自動化および梱包はすべて英国のGLIDEグループ内でまかっています。これにより、品質、サステナビリティ、トレーサビリティ、納期の厳守において、競合他社が追従できないレベルを実現しています。そしてそれは、海外からの材料やコンポーネントの航空および海上輸送への依

存度の大幅な低減につながっています。私たちは、さらなる国内供給化と、主要コンポーネント製造の持続的な統合との組み合わせによる垂直統合化を推進していきます。

また、二酸化炭素排出量削減活動のもう一つの重要な要素として、2022年に4,500枚のソーラーパネルに150万ポンドを投資し、世界中の製造拠点にエネルギーを供給する予定です。現在、リバーサイドおよびノーフォーク・ブリッジ・ワークスで太陽光発電を実施していますが、今後はサウスヨークシャーにある7つの拠点すべてでオンサイト発電を実現できるよう、その取り組みを拡大していきます。

# 削減 実例



## 省エネ

- 保有車両と輸送車両の脱炭素化
- LED照明の使用
- 太陽光によるオンサイト発電の増強
- すべての購入エネルギーを再生可能エネルギーに
- 機械のエネルギーと熱の利用



## 廃棄物削減

- 100%再生プラスチックの製品への使用
- 使い捨て包装の排除
- 現行包装の再生材比率の向上
- 製品説明書の印刷廃止、販促資料の印刷量削減



## ベストプラクティス

- 専任の継続的改善チームと社員オーナーによる事業の効率化
- 製品の改良と取扱製品の合理化
- 製品の影響についてお客様に知っていただくための環境製品宣言の導入



「カイゼンは、グリップルの企業文化の主要概念です。

私たちはカイゼンの手法を用いて、効率改善を持続させ、着実に実施しています。また、カイゼンにより社員が自分の仕事に対してそれぞれ責任を持つことで、間接的に部門横断的な協業とモラルを向上させるのです」

トム・クレイトン、CIチームリーダー

# オフセット



グリップルの二酸化炭素排出量削減プロジェクトでは、スコープ1および2の排出量に対しても削減できない排出分について、必要削減量の最大25%までを認証されたオフセットへの投資で補います。

削減プロジェクトの成果が出るにつれ、投資するオフセットの数は年々減少していくはずですが、オフセットは私たちの戦略の中で重要な位置を占めていますが、最終的には投資によるオフセットだけに依存したくはありません。

気候変動対策へのさらなる貢献のために、私たちは社会と環境に広く影響を与えるプロジェクトを支援し、オフセットへの投資額と同額を出資することになっています。



私たちは事業のあらゆる分野でサステナビリティを維持し、活動を推進する責任を認識していますが、その取り組みはグリップルの事業だけにとどまりません。

すでにさまざまな素晴らしいパートナーと協力し、世界中の重要な社会的・環境的活動に積極的に取り組んでいます。

このような取り組みを増やすと同時に、社員にも同じように働きかけていきます。

### 緑化保全

River Stewardship Company (RSC) は私たちと同じシェフィールドに拠点を置く社会事業企業で、「リバーレーション」を通じて地元のコミュニティと地元の水路との距離を縮めることで社会貢献しています。ドン河は、グリップルの生産拠点周辺の景観の中心的な存在であり、その河畔に隣接して2工場が立地しています。RSCと協力し、社員がボランティアとして河の清掃や整備、開発に積極的に取り組んでいます。



### 世界の貧困地域にエネルギー資源を届ける

Vero Power社の仲間とともに、グリップルは世界各地のエネルギーが不足している地域に、再生可能エネルギーシステムを支援提供しています。14億人以上の人々が、環境のサステナビリティ、人材育成、経済成長に必要な電力が使えずに暮らしています。グリップルはVero社とともに、ソーラーパネルソリューションの設置、設計段階および設置時における技術的なサポート、ソーラー設備の転倒防止/補強ワイヤ工法を提供しています。



2018年以降、グリップルは世界的なユースアクション団体であるRaleigh Internationalと提携しています。遠く離れた地域で活動するRaleighの使命は、世界の緊急課題に対する解決策を生み出す若者主導の行動を喚起することにあります。Raleighは、若者の意思決定や市民社会における役割を促進し、脆弱な環境の保護と気候変動との戦い、有意義な若者の雇用と事業の創出、安全な水と公衆衛生を得る権利の確保を目指し、グローバルに活動しています。Raleigh遠征プログラムは、新卒者、実習生、未来のリーダーを対象とした毎年恒例プログラムの一環として実施されており、これまでに25人のグリップル社員がコスタリカ、ニカラグア、ボルネオ、ネパール、タンザニアのプロジェクトに貢献しました。

「WASH」プロジェクトは、国連の持続可能な開発目標である「4: 質の高い教育をみんなに」、「5: ジェンダー平等を実現しよう」「6: 安全な水とトイレを世界中に」に協調する「学校における水と衛生 (Water, Sanitation and Hygiene in Schools)」を実行するものであり、遠征中のボランティアの活動の中心となっています。



Raleigh  
EXPEDITION

## グリップル財団

寄付およびボランティアプロジェクトを通じたチャリティ団体の支援は、1989年の設立以降、グリップルの中核的な目的となっています。私たちは、社員のチャリティ活動に対する意欲をかきたてるため、過去10年間にわたる100万ポンドを超える寄付とともに、さまざまな「ピープルパワー」プロジェクトを実施して、世界中のチームの身近にある大切なコミュニティ空間を革新してきました。

そして2021年にグリップル財団を設立し、チャリティ支援のアプローチを強化しました。今後は、会長と副会長が寄付した20万株から得られる配当益とともに、グリップルの予算利益の1%が毎年財団に支払われることとなります。その目的は、慈善寄付を促進し、社員のボランティア活動の機会を増やし、コミュニティへの貢献を拡大することにあります。



RE  
GREEN

2022年の新しい試みとして、グリップルがRaleighの新しい英国プログラム「Re:Green」に社員を派遣し、スコットランドでのボランティア活動を支援する計画もあります。ボランティアは、スコットランドの熱帯雨林を保護することを目的とした保全プロジェクトに取り組み、環境キャンペーンとサステナビリティについて学び、リーダーとしての資質を育てていきます。





## グリップルの留め付け金具 — 建設環境におけるCO<sub>2</sub>を削減

全ねじの代わりにグリップルの留め付け金具とワイヤのセットを使用した場合、1メートルあたり1.2kgのCO<sub>2</sub>排出量を削減できると試算されます。全ねじからグリップルの留め付け金具に切り替えた場合、最大で95%のCO<sub>2</sub>排出量削減に匹敵することになります。

グリップルは、製品の設計プロセスにサステナビリティを取り入れる努力を続けています。現在のグリップルハンガーは、強度や機能性を損なうことなく、亜鉛含有量がオリジナルデザインよりも30%削減されています。

私たちのアプローチは、市場の代替品よりも資源消費が少ないソリューションを製造・供給することです。

つまり、グリップルがお客様の問題を解決することが、長期的かつ持続可能な環境保全に大きな利益をもたらすことになるのです。Leadenhallのケーススタディをご覧ください。

**25,000**

2020年に削減されるエンボディド・カーボン(トン)の推定値



## ケーススタディ

プロジェクト: Leadenhall Building, ロンドン

- グリップルの留め付け金具が約25%のM&Eサービスに使用されました。
- CO<sub>2</sub>削減量 - 150トン



大幅な材料の節約と国内サプライチェーンにより、輸送時の効率も大幅に向上しています。同等量の全ねじの要件と比較すると、1回の積み荷で35倍以上のグリップル製品を輸送することが可能です。

詳細情報をご希望の方は、弊社サステナビリティ・マネージャーのTasha Lyth  
(t.lyth@gripple.com)までお問い合わせください。

# 2022

英国事業のカーボンニュートラル化

# 2023

グローバル事業のカーボンニュートラル化

# 2030

ネットゼロ



Norfolk Bridge Works, シェフィールド (英国)

**Gripple Ltd (本社)**

The Old West Gun Works  
Savile Street East  
Sheffield S4 7UQ  
UK

**T** | +44 (0) 800 018 4264

**F** | +44 (0) 114 275 1155

**E** | [info@gripple.com](mailto:info@gripple.com)

**Gripple Europe SARL**

1 Rue du Commerce  
BP 37  
67211 Obernai Cedex  
France

**T** | +33 (0)3 88 95 44 95

**F** | +33 (0)3 88 95 08 78

**E** | [frinfo@gripple.com](mailto:frinfo@gripple.com)

**Gripple Inc**

1611 Emily Lane  
Aurora  
IL 60502  
USA

**T** | +1 866 474 7753

**F** | +1 800 654 0689

**E** | [usinfo@gripple.com](mailto:usinfo@gripple.com)

**Gripple India**

C-115 Industrial Area  
Phase 1, Naraina  
New Delhi -110028  
India

**T** | +91 11-40582703

**F** | +91 11-40582703

**E** | [ininfo@gripple.com](mailto:ininfo@gripple.com)

**Gripple Canada Inc**

7015 Ordan Drive  
Unit #15a Mississauga  
Ontario L5t 1Y2  
Canada

**T** | +1 905 458 8700

**F** | +1 800 654 0689

**E** | [grippleinc@gripple.com](mailto:grippleinc@gripple.com)

**グリップル ジャパン株式会社**

〒652-0845  
兵庫県神戸市  
兵庫区築地町2-57

日本

**T** | +81 (0) 78 681 2121

**F** | +81 (0) 78 681 2121

**E** | [japan@gripple.com](mailto:japan@gripple.com)

[www.gripple.com](http://www.gripple.com)

[info@gripple.com](mailto:info@gripple.com)

GRC-DIGI-GRI-ENG-5157

2021年11月発行

GrippleはGripple Limitedのイギリスの登録商標です。No. 1772901、VAT Reg No.GB 600 1951 88GB 600 1951 88

